「治水ノ難波」と「甲山の猛虎」ゆかりの地

甲斐市

甲斐市の竜王は山梨市差出、笛吹市の近津と一緒に「治水ノ難場」と言われ、河川の氾濫が激しい地域であったため、信玄の時代から治水が行われるようになったとされている。また、武田氏家臣で「甲山の猛虎」と呼ばれた飯富虎昌や、徳川家康をも震え上がらせた飯富(山県)昌景兄弟の屋敷があったと伝えられる。

山県大弐は江戸時代の学者で、人々に医学や兵学などを教えました。山県昌景の子孫との説もあります。

霞堤は、堤防の下流端を解放し、次の堤防の上流端を堤内に延長して雁行するように造られた不連続の堤防のこと。道は堤防跡です。

96 本妙寺

飯富氏家臣である三井氏ゆかりの寺と伝えられている。江戸時代の墓石群、供養や祈願のためにお経を書いた経石がある。

本妙寺

97 篠原塁址

甲斐市役所竜王庁舎近くの八幡神社の隣にある館跡。神社と個人宅の周囲に堀が残る。館の主は不明だが、古記録などを参照すると三井氏の館跡であった可能性がある。

篠原塁址の堀跡

98 榎俣遺跡

中世の墓地跡と考えられており、ねずみ天神が立つ土地の脇に、出土した中世の五輪塔が並んでいる。

榎俣遺跡

99 飯富氏屋敷跡

飯富虎昌やその弟の飯富(山県)昌景の屋敷跡と伝わる。屋敷跡の詳細は不明だが、周囲の道は複雑になっており、かつての屋敷の名残と思われる。また道祖神や石碑が建っている場所に館の堀である「阿他屋堀」があった。

飯富氏屋敷跡地

100 八幡神社

鎌倉時代に建てられたとされる神社で、山梨市にある窪八幡神社と対をなす由緒ある神社。

八幡神社

95 旧竜王河原宿石橋

信玄堤の完成にともなって、水防と耕地化のために周辺の村から人を集め、竜王河原宿をつくった。この石橋は宿の成立当初、屋敷に架けられたもので、永禄四(1561)年の銘文がある。石橋の部材は市指定の文化財である。個人宅の玄関先にあるため、見学する際には所有者の許可が必要。

旧竜王河原宿石橋部材説明看板

94 信玄堤

武田信玄が水害を防ぐために造った堤防と伝わっているが、当初の姿は不明である。その近くには水防祈願のために平安時代に建てられた三社神社があり、毎年4月15日に一宮浅間神社(笛吹市)、一宮美和神社(笛吹市)、三宮玉諸神社(甲府市)から神様をお招きして、水神様を鎮める「おみゆきさん」を行う。

信玄堤